

空き店舗を活用してまちなかに学生の交流拠点を整備している取組 (高知県高知市)

【支援措置】

中心市街地活性化ソフト事業 総務省〔事業経費の1/2を特別交付税により措置〕

【事業費】

2,500千円(支援措置対象経費 2,500千円)

中心市街地エリアにある京町商店街の空き店舗を活用し、まちの魅力向上や賑わいの創出に資するため、まちづくり活動や商店街の活性化に寄与する活動をしている学生の交流の場や機会を設け、情報交換や活動の連携を促す。

・学生活動交流館外観



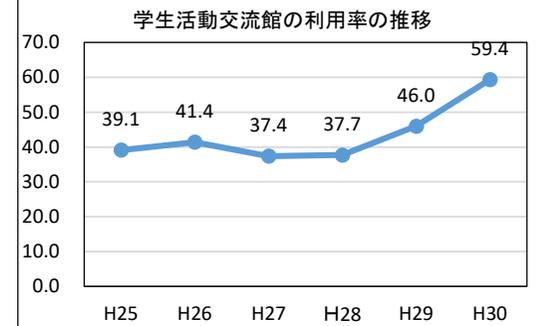
平成25年11月に高知市が「高知市学生活動交流館」を開設した。

市の委託を受けた京町・新京橋商店街振興組合が、利用者への助言等、学生活動支援を行っている。市は、人件費や賃料・光熱費等の事業費を全額負担しているほか、直営で「街なか学生活動支援事業費補助金」として、街なかでイベント等を行う学生を支援しており、これまでに中心市街地で観光案内活動を行うための法被製作費の全額を補助した実績がある。これら学生活動支援に関する事業費の全額を中心市街地活性化ソフト事業の支援措置対象経費としている。

学生の活動拠点となり、街なかで活動する学生の活動幅が広がっているほか、ワークショップ、ミーティング、ギャラリー等として活用できる街なか多目的スペースとしても機能しており、利用率は概ね右肩上がりである。

高知大学の学生グループが活動団体「コンパス」を設立し、街なか福祉マップの作成や観光・福祉ボランティア活動を行うようになった。また、商店街が主催する「高知まちゼミ」(ミニ講座)に、コンパスら学生グループが参加し、商店街の店舗や魅力を伝えるといった交流・協働の機会が増加している。

さらに同じく学生グループ「スポーツ化組合」が市と共催で、「スポーツGOMI拾い大会」を開催したが、これには商店街も開催協力しており、行政・民間・学生が連携した取組が生まれたといえる。



【計画書の事業名】 街なか学生活動連携事業



〈芸術グループによる絵画展〉



〈スポーツGOMI拾いin城下町〉



〈学生によるまちづくりワークショップ〉



〈学生グループ「コンパス」による観光案内〉